

アプリケーションとしてPostmanを使用したWebex Contact Center APIの設定

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[確認](#)

概要

このドキュメントでは、アプリケーションとしてPostmanを使用してWebex Contact Center(WxCC)APIを設定する方法について説明します

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Webex Contact Center(WxCC)2.0
- テナントへの顧客管理者アカウント
- Postman APIプラットフォームの使用

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づいています。

- WxCC 2.0
- Postman APIプラットフォーム
- Webex Developerポータル

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

設定

ステップ1:顧客管理者のアクセス権を使用して開発者ポータルにログインします。

[開発者向けコンタクトセンター](#)

ステップ2:WLCの Create a New App アイコンをクリックします。



ステップ3:次に示すように、統合、説明、リダイレクトされたURI、およびスコープの新しい名前を入力します。

Postmanをアプリケーションとして使用する場合は、PostmanのリダイレクトURL:<https://oauth.pstmn.io/v1/callback>

ブラウザでPostmanを使用する場合は、PostmanのリダイレクトURL:<https://oauth.pstmn.io/v1/browser-callback>

Integration Name*
Name of your integration

 [Edit](#)

Description*
Provide some details about what your integration does, how it benefits users, and most importantly, how a user can get started using it. The description should be under 1024 characters.

Partner summit

[Edit](#)

Redirect URI(s)*
One or more URIs that a user will be redirected to when completing an OAuth grant flow.

 [Edit](#)

Scopes*
Scopes define the level of access that your integration requires.

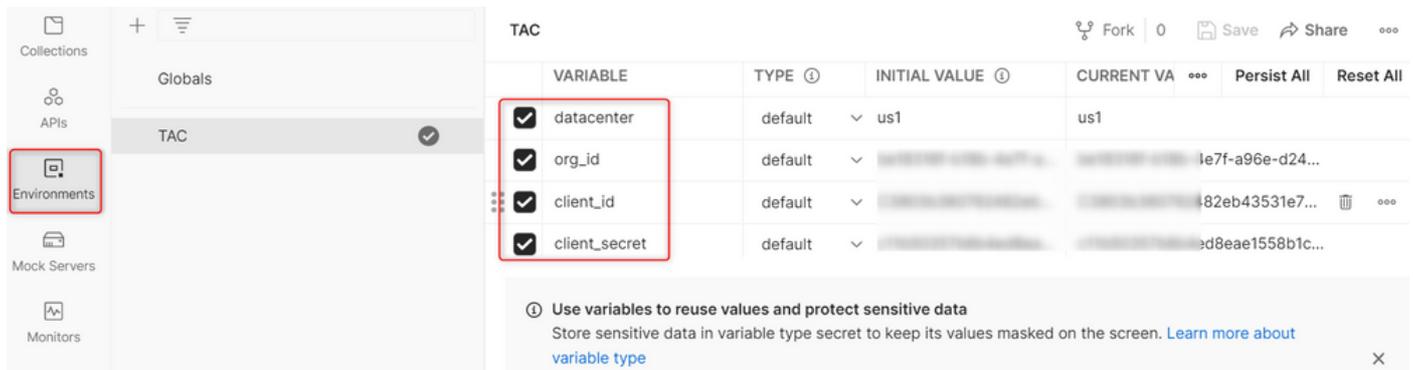
- cjp:config
- cjp:config_write
- cjp:config_read
- spark:people_read
- cjp:user

手順4:Postmanで環境変数を作成します。

変数はグローバル（これらの変数を使用するすべての変数に適用）にすることも、ローカルにすることもできます。ローカルで使用するために作成されたすべての変数のスクリーンショット環境を次に示します。

渡される変数は次のとおりです。

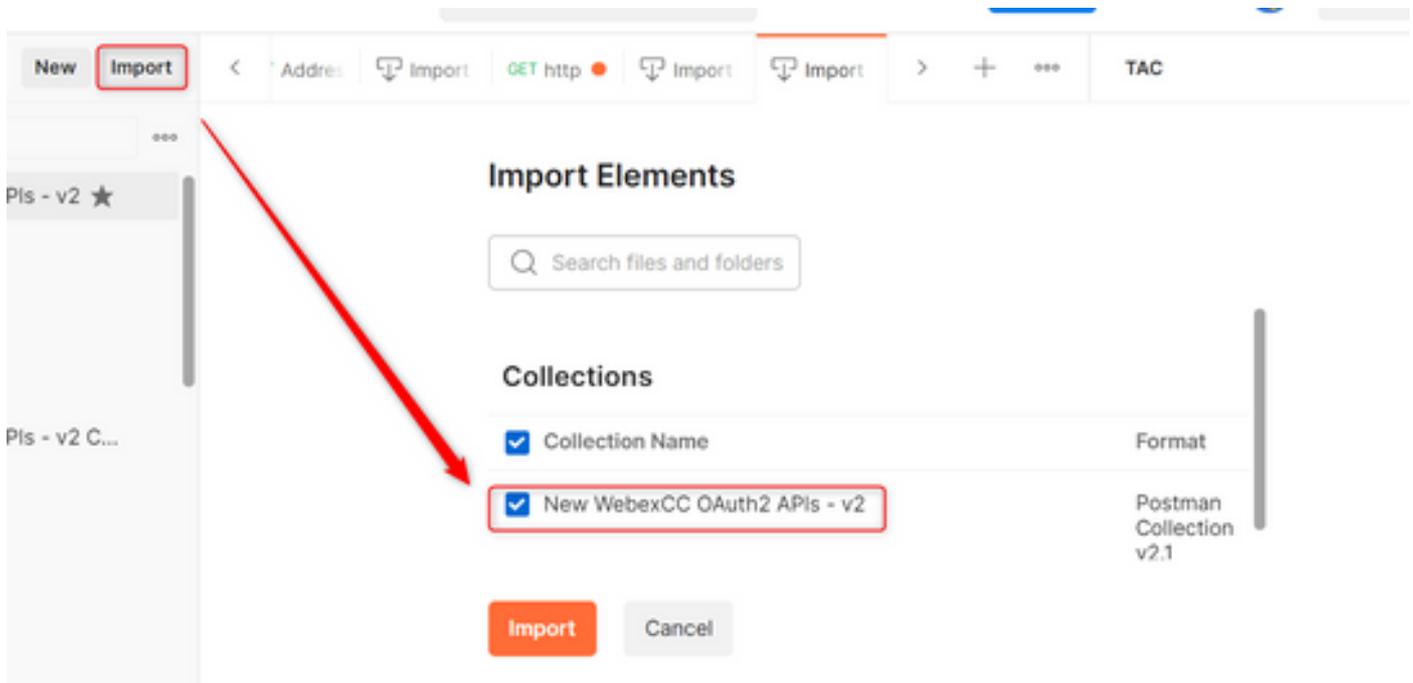
- datacenter : データセンターは、ProdUS1の場合はus1、ProdEU1の場合はeu1、ProdEU2の場合はeu2、ProdANZ1の場合はanz1です
- org_id : テナントの組織IDを入力します。
- client_id : 開発者ポータル(WebEx)アプリケーションで生成されたクライアントIDを入力します
- client_secret : 開発者ポータル(WebEx)アプリケーションで生成されたクライアントシークレットを入力します



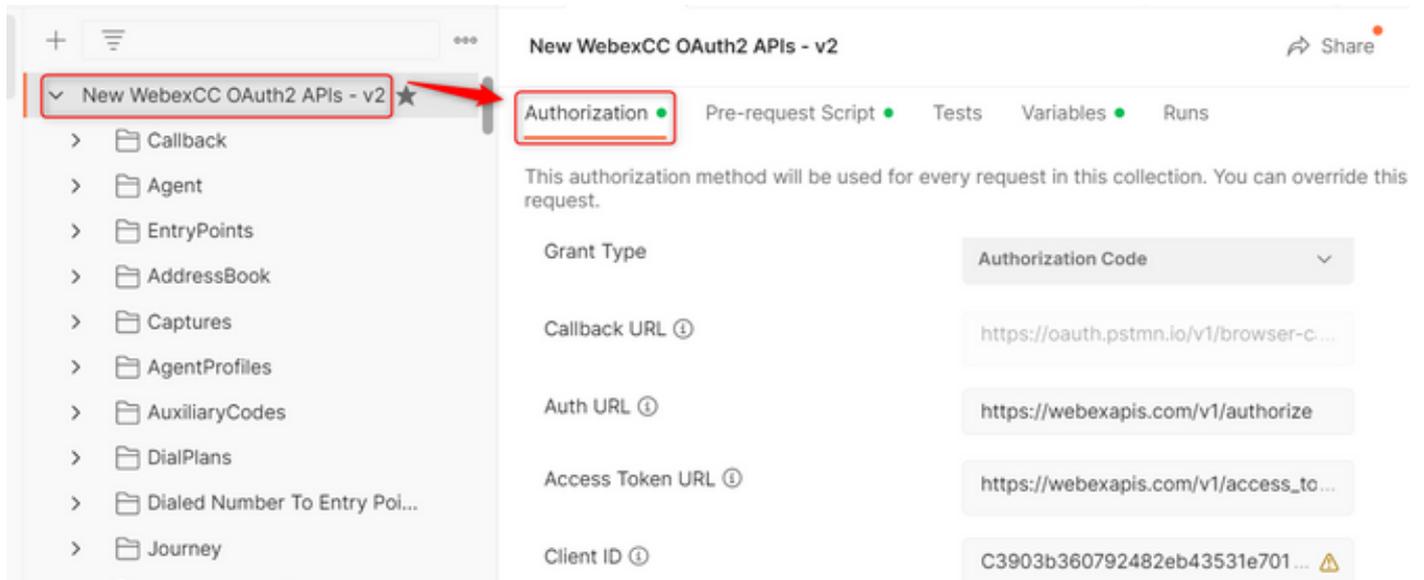
ステップ5:リンクからPostコレクションをダウンロードします。

コレクションをダウンロードするには、[Sample Postman APIs](#)に移動してください。

ステップ6:JSONファイルをPostmanにインポートします。

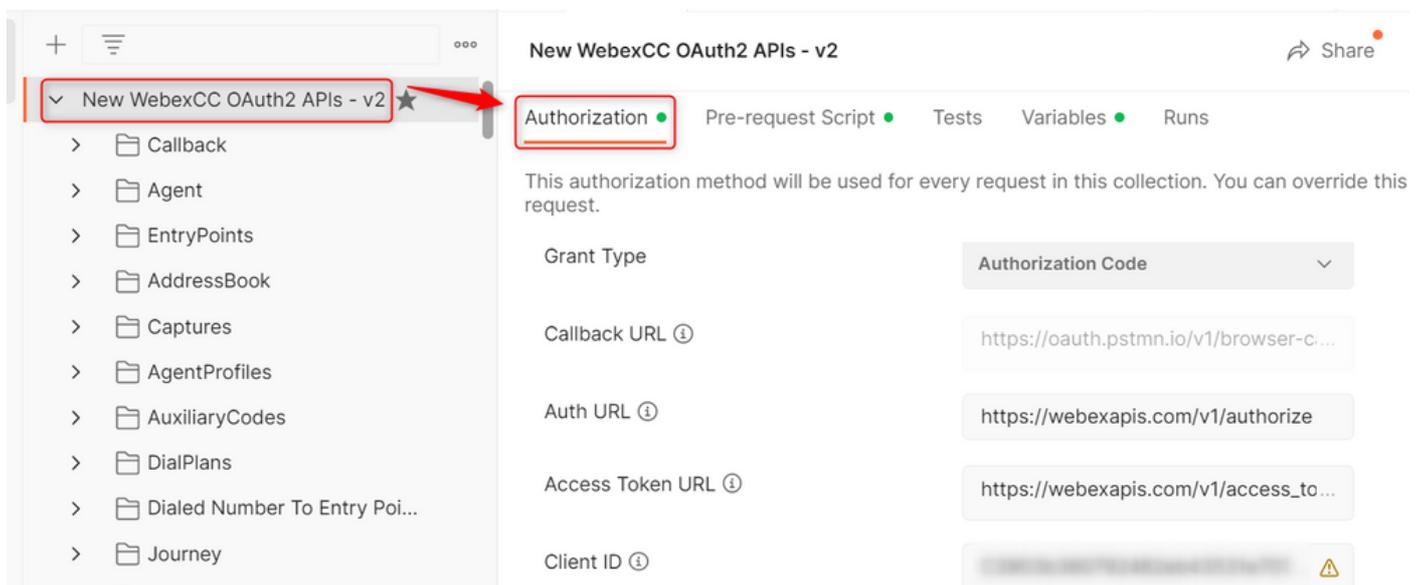


ステップ7:インポートしたら、コレクションを選択してAuthorizationページに移動します。



ステップ8:作成したコレクションを選択し、 Authorization。

- **Auth_URL:** <https://webexapis.com/v1/authorize>
- **Access Token URL:** https://webexapis.com/v1/access_token
- **Scope:** cjp:config cjp:config_read cjp:config_write



ステップ9:選択 Get New Access Tokenを参照。

Authorization ● Pre-request Script ● Tests Variables ● Runs

This authorization method will be used for every request in this collection. You can override this by request.

Scope ⓘ

cjp:config cjp:config_read cjp:config ...

State ⓘ

new

Client Authentication

Send client credentials in body



Get New Access Token



ステップ10:これが完了すると、Webexにログインするためのプロンプトが表示されます。顧客テナントへの管理者アクセス権を使用してサインインします（手順1で開発者ポータルへのログインに使用したログイン資格情報と同じです）。



Welcome to Webex

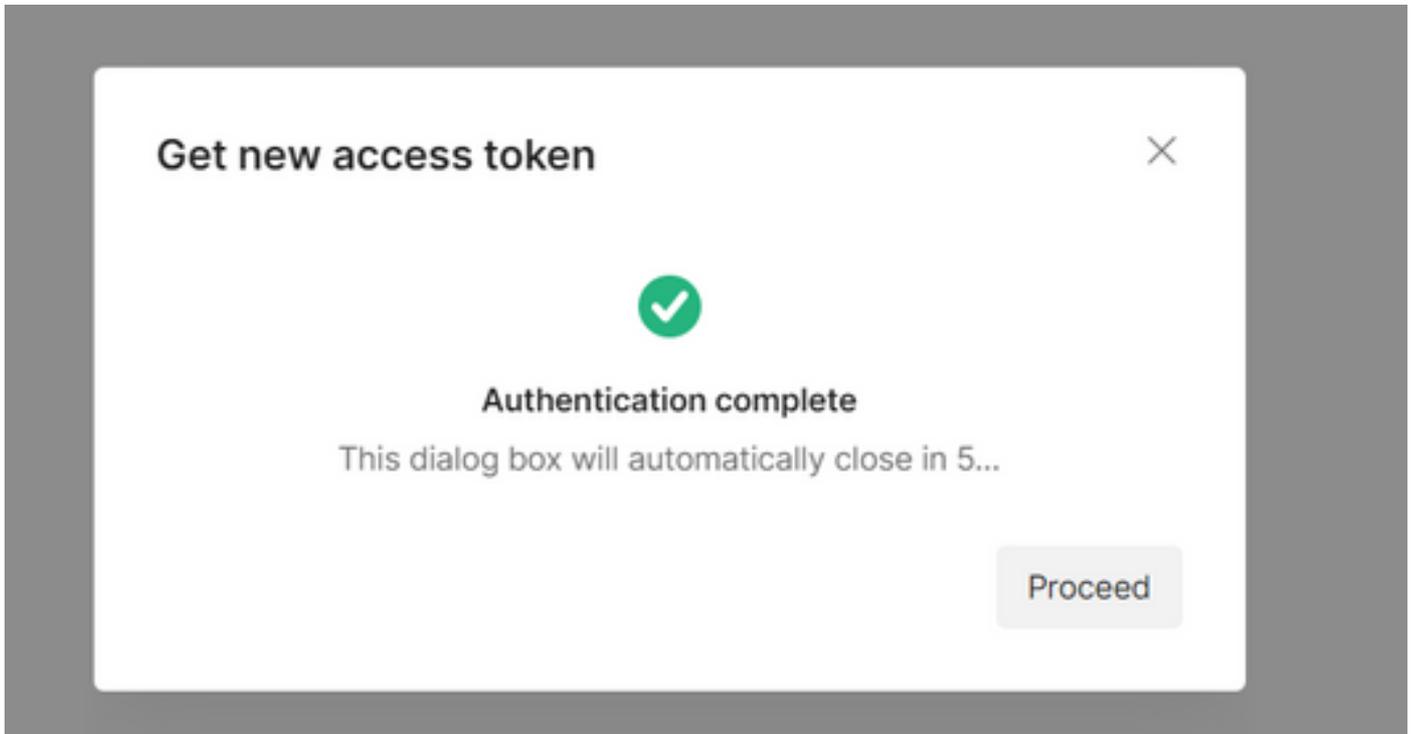
Sign In

[Need help signing in?](#)

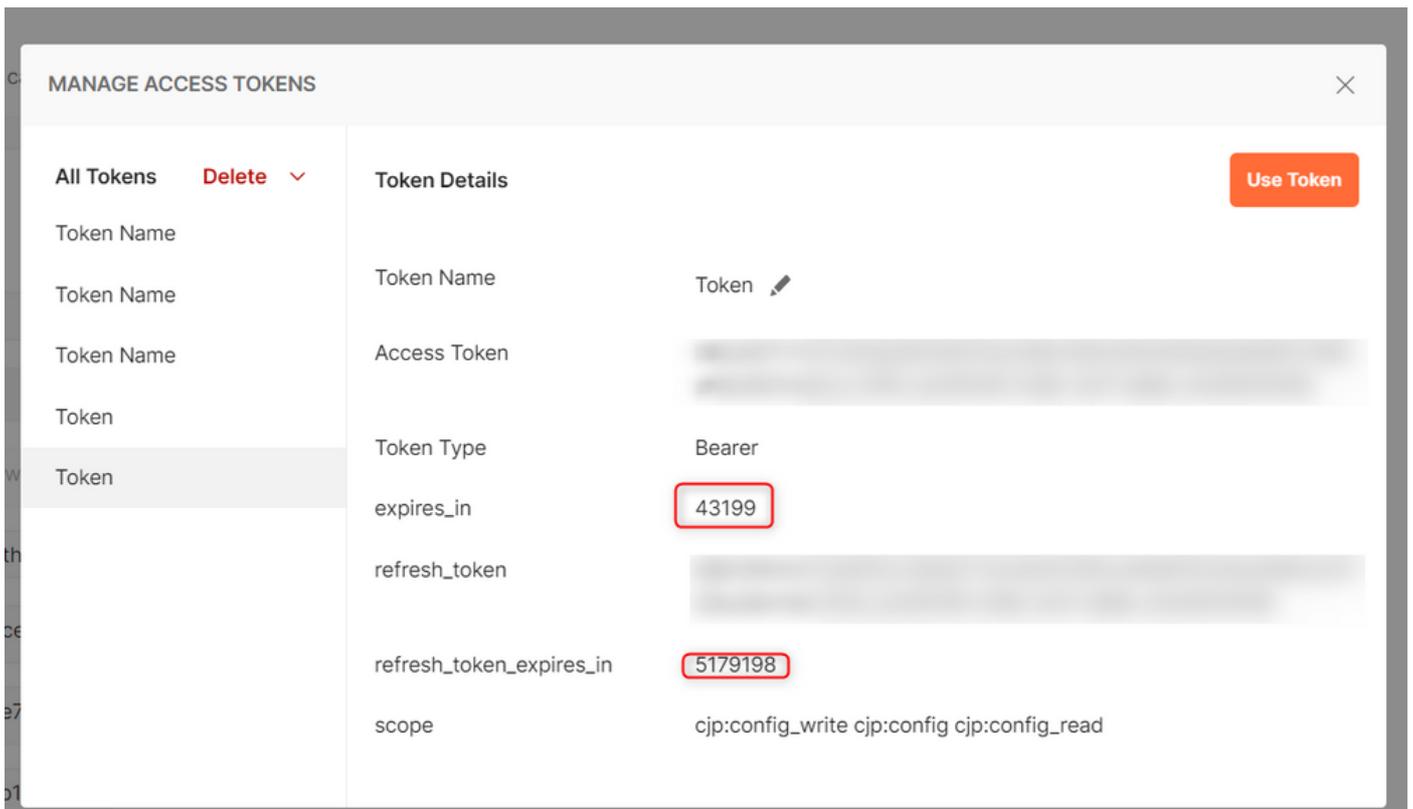
webex by CISCO

By using Webex you accept the [Terms of Service](#), [Privacy Statement](#), [Notices & Disclaimers](#). [Learn more about Webex.](#)

ステップ11:これが完了すると、Successメッセージが表示されます。



ステップ12:5秒後に、アクセストークンが生成されます。選択 [Use Token](#) を参照。



確認

これが完了したら、インポートされたリストからAPIを実行します。

- Authの下で、次の項目を選択してください。 [Inherit Auth from Parent](#) を参照。

– 前の手順で作成した環境が選択されていることを確認します。作成された変数がグローバルである場合は、この手順を無視します。

The screenshot displays the Postman interface for an API request. The request is a GET method to the URL `https://api.wxcc-{{datacenter}}.cisco.com/organization/{{org_id}}/address-book/`. The 'Auth' tab is selected, and the 'Type' dropdown is set to 'Inherit auth from parent'. A dropdown menu is open, showing 'No Environment' and 'TAC' as options. The 'TAC' option is highlighted with a red box. The status bar at the bottom shows a 200 OK response, a response time of 69.3 ms, and a body size of 571 B. The right sidebar shows the 'Authorization' section with 'OAuth 2.0' selected and a note that the request is using an authorization helper from the 'New WebexCC OAuth2 APIs - v2' collection.

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。